FUKUSHIMA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWSLETTER

福島大学ファミリー会

VOL 06
2026.3

PICK UP
地元企業を知る
-1年生からのインターン入門-

PICK UP
Giving Campaign表彰式、
本学経済経営学類卒業生・
佐藤舞氏による特別講演などを
実施（ホームカミングデー）

大学のようす

福島大学放送部の活動の様子です。福島大学放送部は2007年に設立され、福島市のコミュニティラジオ局FMポコにて放送されている「CAMPUS CLAP!」の制作や、ラジオや企画動画などを投稿する「あおらじ【福島大学放送部】」の運営を行っています。また、毎年秋に開催される福大祭において公開収録も行っています。活動の様子はYouTubeやX、Instargam等でアップしておりますので、ぜひご覧ください。

校友会会長（福島大学長）挨拶

福島大学校友会 会長
三浦 浩喜
（福島大学長）

福島大学校友会（ファミリー会）の会員の皆様には、常日頃より本学の教育研究に対し、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、物価の上昇やコメ不足など、学生の“食”に大きな影響があった一年となりました。そのような状況を踏まえ、校友会では基金を活用し、令和7年新米を特別価格で販売・宅配する企画を初めて実施いたしました。とどまるところを知らない物価高に対し、いかに学生たちに安心して勉学に取り組む環境を提供できるかが、私たちの使命となります。会員の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本学では、昨年４月に「福島大学学士課程改革構想」を公表いたしました。令和９年度からは、教育学部、政経学部、理工学部、食農学部（いずれも仮称）に再編し、一段とパワーアップした教育研究活動を行ってまいります。特に、教育分野においては、各学部における探究的・融合的な学びに加え、学部の垣根を越えた分野横断型の教育カリキュラムからなる「共創知教育」を目玉に、福島から世界へ羽ばたくイノベーション人材の育成を目指していく所存です。

最後になりますが、わたくし三浦は、任期満了に伴い令和８年３月末をもって福島大学長を退任いたします。就任当初は新型コロナウイルス感染症の流行により、大学らしい生活を制限させざるを得ない日々が続き、学生には辛く苦しい思いをさせてしまうことも少なくありませんでした。そのような中でも、今何ができるかを考え、主体的に行動した学生は、言葉では言い表せないほどの大きな成長を遂げられたのではないかと思います。この場をお借りし、在任期間中を支えてくださったすべての校友会会員の皆様に改めて感謝申し上げ、私からの挨拶といたします。

今後とも変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

校友会支援事業 01

学生支援に係る事業

福島大学災害ボランティアセンター監修！「ぼうさい意識袋」を販売

校友会では、学生の防災意識向上に寄与する企画として、食料品や防災グッズのセット「ぼうさい意識袋」を特別価格で販売します。

これまでは「ぼうさい支援袋」として販売してきましたが、東日本大震災から15年が経過し、防災支援という被災後の対応にとどまらず、平時からの備えと意識づくりが重要であると考え、本年度より名称を「ぼうさい意識袋」に改めました。

今回は、防災啓発や災害時の支援活動に取り組む「（学生団体）福島大学災害ボランティアセンター」が監修し、衛生・食料・季節（夏・冬）に特化した、それぞれ内容の異なる4種類の袋を用意しています。この袋の中身で防災が完結するのではなく、学生一人ひとりが災害について改めて考え、備えを見直す出発点となることを目指しています。

また、昨年に続き売上の一部を能登半島への被災地支援として日本赤十字社に寄附いたします。

校友会支援事業 02

キャリア・就職活動支援

地元企業を知る —1年生からのインターン入門—

PICK UP

キャリアセンターでは、１年生を主な対象とし、地元企業と連携しながら１日体験型の『プレ・インターンシップ』を実施しています。本格的なインターンシップの入門編として、見学や会社概要を聞くだけでなく、作業体験や社員との交流、グループワークなどを盛り込んだプログラムを実施し、福島県内の企業を知るとともに自身の働くイメージや職業などについて、将来への視野と関心の幅を広げることを目的としています。

また、参加者には受講を必須とした事前研修を実施しています。研修では、実習での目的意識を持ってもらうため、参加にあたって大切なこととして「福大生の代表であるという自覚と責任を持つ」ことや、社会人としてのマナーを身につけるため、マナーの基本的な考え方や身だしなみや挨拶のマナーについて学ぶ場を提供しています。

令和７年度は、８月・９月に計５回実施しました。延べ90名の学生（１年生）が参加し、計３社を訪問しました。校友会では、バス借り上げ代を支援しています。

（福島銀行）「資産運用ゲーム」

（福島銀行）先輩社員との座談会

（タンガロイ）オリエンテーション

（タンガロイ）グループワーク「MVP 若手社員を選出せよ」

参｜加｜学｜生｜の｜声｜

東日本旅客鉄道株式会社

①インターンで実際に現場を見ることで、雰囲気や職業についての理解を深めることができるということを感じました。これからも職業について、情報収集をして、理解を深めて行きたいと思います。
②実際に行ってみないとわからないことばかりだと感じた。少しでも興味があるものを積極的に調べ、その情報をこれからの進路設計に役立てたい。自分の今後について考える貴重な機会となった。

株式会社福島銀行

今回のプレインターンシップは、銀行の具体的な業務理解だけに留まらず、就職活動を進めるうえでの実践的なアドバイスをいただくことができ、とても有意義な時間となりました。銀行が担う地域貢献の重要性や、専門知識を活かしたコンサルティング的な働きに触れることで、金融業界に対する理解が大きく深まったと感じます。また、自分自身の今までの就職活動の取り組み方を振り返り、理想とのギャップを発見できたことで、前向きにこれからの準備を進められる自信につながりました。

株式会社タンガロイ

いわきにある企業だから行ってみようという漠然とした理由で参加しましたが、今回参加してみて、様々な視点を得ることができたと感じています。将来の職業は今まで漠然と考えていただけで、具体的に職業を決めていた訳ではありませんでした。今回色々なお話を聞いて、実際に見たことで、今までよりもさらに、将来の就職に対する解像度が上がったように感じています。非常に有意義な時間が過ごせました。

校友会支援事業 03

卒業生・修了生対象事業

卒業記念品の贈呈

令和７年度の卒業生・修了生を対象に、名刺入れを卒業記念品として贈呈します。社会人になると必要となる名刺入れ。本学のロゴ、Ｆマークの名入れが施されています。校友会では卒業記念品の贈呈を、卒業生対象事業として継続していく方針です。

校友会 支援事業 04

学生支援に係る事業

福大生応援プロジェクト2025

「福大生応援プロジェクト」は昨年から始まった取り組みで、物価高が続くなかでの学生の食生活支援を主な目的としています。

今年度は地元企業や福島大発ベンチャー企業の協力のもと、2つのイベントを開催いたしました。

500円本格カレーの販売！　学生支援×地元企業応援

令和7年7月下旬の4日間、校友会会員（学生）を対象として、地元企業が販売する本格カレーを1食500円で販売しました。

前期正規試験を控える学生の応援、地元企業の応援も目的に、本学が位置する福島市を拠点に活動する株式会社笑夢の協力のもと、笑夢カレーを1食500円（通常価格1,200円）で提供しました。キッチンカーには連日長蛇の列ができ、全日盛況のうちに終了しました。

実際に食べた学生からは、満面の笑顔とともに「本格的なカレーを学内で購入出来て嬉しい。」「物価が上がっている中、有名なカレーを安い価格で食べられるのはとてもありがたい。」と言った声が寄せられました。

笑夢カレーを購入する学生

販売した笑夢カレー

新米2kgを300円で販売！ 未来農業株式会社×ヤマト運輸株式会社×福島大学校友会

令和7年11月下旬、校友会会員（学生）を対象として、新米2kgを300円で販売しました。

本企画は、福島大発ベンチャーの未来農業株式会社が育てた福島県産の新米を、ヤマト運輸株式会社が学生の自宅まで配送する特別企画となりました。

単なる格安販売ではなく、「ちゃんと食べることが、学生の健康・学び・未来につながる」という想いのもと、農家（地域）・物流・大学が連携して取り組む「新しい学生応援」の形として実施され、販売開始から2日ほどで完売し、好評のうちに終了しました。

また、本企画の開催を記念して令和7年11月12日には記者会見が行われました。

未来農業株式会社（代表取締役：丹野友幸氏）、ヤマト運輸株式会社（福島主管支店長：石毛智昭氏）、購入した学生らが参加し、今回のイベントへの思いを語りました。福島大学公式マスコットキャラクターのめばえちゃんに加え、ヤマトグループ公式キャラクターのクロネコ・シロネコも参加し、和やかな雰囲気で開催されました。

実際に新米を購入した校友会会員の学生は、「お米代には苦労しているので大変ありがたい。」「重いお米を自宅まで配送していただけるのもとても助かる。」と感想を述べました。

記者会見の様子
（左から）丹野氏、石毛氏、購入した学生、三浦会長、齋藤理事

福島大学公式マスコットキャラクターのめばえちゃん（中央）、ヤマトグループ公式キャラクターのクロネコ・シロネコ（左右）

校友会 支援事業 05

学生教育支援環境等整備事業

学生向け図書・電子資料の整備を支援

フクニチャージ図書館※では、福島大学の幅広い学習・研究に対応できるよう、校友会支援事業により、地方新聞データベースなどの電子資料や、冊子資料の充実を図っています。

- 「福島民報データベース」（福島民報新聞）
- 「みんゆうデジタルアーカイブ」（福島民友新聞）
- 人文社会科学／自然科学／農学など様々な分野の参考図書／電子ブック

※福島大学附属図書館は、2023年4月1日より、福島日産自動車株式会社とのネーミングライツ・パートナー契約を締結し、愛称を「フクニチャージ図書館」としています。

入館ゲート付近「特設コーナー」に配置した冊子資料

詳細についてはこちら ▶

校友会 支援事業 06

国際交流（海外留学）支援／国際交流リーフレットの配布

留学を考える福大生は必読！

国際交流センターでは、留学制度や海外協定校の情報、学内の国際交流活動等についての理解を促進するため、国際交流リーフレットを作成し、配布しています。実際に留学を経験した学生からのアドバイス、留学生をサポートするバディ制度、C1 Project（英語語学試験のハイスコアを目指すプログラム）等、実用的な情報を掲載しています。

ぜひ
リーフレットを
ご一読ください
▼▼▼

校友会 支援事業 07

教育研究活動等に役立つ福島大学応援団の人脈形成にかかる事業

PICK UP

Giving Campaign表彰式、本学経済経営学類卒業生・佐藤舞氏による特別講演などを実施（ホームカミングデー）

令和7年11月1日（土）、福大祭にあわせて第18回ホームカミングデーを開催しました。フクニチャージ図書館（附属図書館）1階のアリアコモンズを会場に、第1部校友会総会、第2部ホームカミングデー、第3部交流会の3部構成で実施しました。

【Giving Campaign表彰式】

本学で初の試みとなるGiving Campaign表彰式を開催しました。Giving Campaignとは、令和7年10月10日（金）から19日（日）の10日間で実施され、全国110の大学・高専が参加するオンラインチャリティイベントです。表彰式では、Giving Campaign2025に参加した本学の48団体のうち、大学独自の基準※で選ばれた3団体、および校友会会長賞に選ばれた1団体の計4団体に対して、校友会会長より賞状と目録が手渡されました。表彰式には、Giving Campaignの主催者である株式会社Alumnoteの沼田裕輝COOにもご参加いただき、取り組みの趣旨や本キャンペーンに込められた想いが語られるとともに、受賞者一人ひとりの活動に対して労いの言葉が贈られました。今回表彰されたのは下記4団体です。

Giving Campaign表彰式での集合写真

1位…女子バレーボール部
2位…（学生団体）福島大学災害ボランティアセンター
3位…金谷川プロジェクト
校友会会長賞…インタラクティブシステムデザイン研究室

※団体構成員数1人あたりの得票数。校友会会長賞は、参加した研究室のなかで最も多くの得票を得た団体。

【講演会】

本学経済経営学類の卒業生であり、合同会社デルタクリエイト代表の佐藤舞氏を講師に迎え、特別講演を行いました。佐藤氏は、「数学アレルギーから統計を仕事にすることになった軌跡～大学時代にやっておくべきこと～」をテーマに、大学時代の過ごし方やキャリア向けのアドバイスなどについて講演し、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。来場者には佐藤氏の著書『あっという間に人は死ぬから　「時間を食べつくすモンスター」の正体と倒し方』が贈られ、本学附属図書館にも寄贈していただきました。

佐藤舞氏の講演会の様子

【交流会】

第3部の交流会では、令和7年8月に福島大学発ベンチャーとして新たに認定された未来農業株式会社のお菓子と、株式会社Kokageのハーブティーが提供されました。当日は本学の卒業生幹事も参加し、学生時代の思い出や就職後の近況について語り合うなど、終始なごやかな様子が見られました。

当日は在学生やその家族、卒業生、一般の方々を含む約80名が来場し、好評のうちに終了しました。

校友会総会の様子

第3部交流会で賑わう参加者たち

令和7年度福島大学校友会（ファミリー会）総会 表決結果

ホームカミングデーの第1部として校友会総会が開催され、32名の方に出席いただきました。表決結果は以下のとおりです。

審議事項1.	令和7年度役員及び理事会構成メンバーについて	賛成:32	反対:0	棄権:0
審議事項2.	令和6年度事業実施報告および会計決算報告について	賛成:32	反対:0	棄権:0
審議事項3.	令和7年度事業計画および予算案について	賛成:32	反対:0	棄権:0

結　果　すべての審議事項について、全員の賛成をもって可決されました。

令和7年度
理事会

福島大学校友会（ファミリー会）の令和7年度理事会が、6月28日に開催され、15名の役員（うち12名が対面、3名がオンライン出席）の皆様にお集まりいただきました。
審議事項は、上記総会の内容と共通です。審議の結果、提案どおり承認されました。
役員の皆様より、各議題についてご意見をいただきました。今後検討、改善してまいります。

令和７年度福島大学校友会（ファミリー会）役員について

令和７年度の福島大学校友会（ファミリー会）役員については、校友会（ファミリー会）HPをご覧ください。

令和６年度会計決算報告

令和６年度福島大学校友会会計決算書

収入内訳　　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	備　考
前年度繰越金	35,416,272	35,416,272	0	
会費	22,000,000	15,560,000	▲ 6,440,000	加入者778名/1,162名×2万円（加入率66.9%）
雑収入	0	90,098	90,098	関東交流会交流費62,000円 ぼうさい支援袋@300×50個、預金利息
収入合計（A）	57,416,272	51,066,370	▲ 6,349,902	

支出内訳　　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	備　考
（1）主に学生支援に係る事業	11,030,000	10,620,414	409,586	
①キャリア教育・就職活動支援	1,050,000	1,054,008	▲ 4,008	フェア開催、バス借上
②図書資料の充実への支援	4,300,000	4,287,056	12,944	電子ブック・東日本大震災関連図書購入
③国際交流（海外留学）支援	200,000	164,230	35,770	国際交流リーフレット製作
④福大生応援プロジェクト	1,000,000	1,178,514	▲ 178,514	ぼうさい支援袋購入支援、100円カレー
⑤卒業生への記念品贈呈	2,000,000	2,019,226	▲ 19,226	名刺入れの贈呈
⑥学習環境整備	2,000,000	1,557,380	442,620	ワンタッチテント、長机用台車
⑦サークル活動支援	480,000	360,000	120,000	大会出場支援
（2）人脈構築事業	3,200,000	2,621,562	578,438	
①会報	700,000	324,830	375,170	会報製作（発送費は令和7年度に支払い）
②ホームカミングデー	300,000	362,415	▲ 62,415	講師謝金、役員交通費、飲物代
③地区交流会	1,100,000	1,037,487	62,513	関東交流会
④学内外交流事業	100,000	0	100,000	
⑤校友会カフェ	1,000,000	896,830	103,170	カフェワゴン
（3）その他校友会維持、発展のための事業	1,200,000	1,285,491	▲ 85,491	
①事業コーディネーター人件費	0	0	0	
②会員データベース	600,000	660,550	▲ 60,550	メール配信システム
③その他事業（運営費等）	600,000	624,941	▲ 24,941	会員カードの制作、入学辞退者への返金
（4）予備費	5,000,000	5,000,000	0	
①校友会サロン積立て	5,000,000	5,000,000	0	
支出合計（B）	20,430,000	19,527,467	902,533	
次年度への繰越額（A-B）		31,538,903		

令和７年度事業計画

基本事業

（1）学生支援に係る事業（会則第３条１号）

①キャリア教育・就職活動支援
- 業界研究・インターンシップフェアへの支援
- キャリアセンター学生向けホームページ（キャリさぽインデックス）の運用に対する支援
- プレ・インターンシップ（1日就業体験）への支援
- キャリアカフェへの支援

②図書資料の充実への支援
- 電子ブック等（非来館型図書資料）の充実への支援
- 図書資料の充実への継続した支援

③国際交流（海外留学）支援
④福大生応援プロジェクト
⑤卒業生への記念品の贈呈
⑦サークル活動支援

（2）教育研究活動等に役立つ福島大学応援団の人脈形成に係る事業（会則第３条２号３号）

①会報の発行（年1回、３月予定）
②ホームカミングデーの開催（11月1日（土）開催を予定）
③地区交流会
④学内外交流事業
⑤校友会カフェの整備

（3）その他校友会維持、発展のための事業

①事業コーディネーター人件費
校友会設立当初より、事業コーディネーターの配置が想定されていたものの、コロナ禍の影響で一時的に活動が停滞し、具体的な配置には至っていなかった。今後の校友会の活動拡大や支援事業の質の向上を図る。業務内容は主に、既存事業の質の向上、新規事業の企画、校友会会員の交流強化。

②会員データベース
昨年度導入した「名簿管理システム」を継続して使用する。これまでは校友会会員の情報管理をエクセルで管理しており、ヒューマンエラーが起きやすく、情報の管理体制が整っていない状況にあった。システムの導入によって名簿作成・更新等の入力がシステム上で完結するよう整備した。今後も、名簿管理システムによる一斉メール配信機能を活用し、各種イベントの周知を行う。

③その他事業（運営費）
校友会加入案内書の製作、会員カードの制作、ネットバンキングの利用料、理事会運営費

（4）予備費

①校友会サロン積立て
校友会カフェを発展させ、同窓生や保護者をはじめとした校友会の皆さまのボーダーレスな交流拠点として、また、一人でのご利用はもちろんのこと、ミーティング、セミナー、会議、会合などの目的にあった形で利用できる施設を整備するための資金を積み立てる。（目標：大学創立90周年）

校友会運営に関する事業

①理事会（年１回）　②総会（年１回）

令和７年度会計予算案

収入内訳　　単位：円

科　目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減額	備　考
前年度繰越金	35,416,272	31,538,903	▲ 3,877,369	
会費	22,000,000	24,000,000	2,000,000	（R7）入学定員（学類+編入+院）1,200名×2万円
雑収入	0	0	0	
収入合計（A）	57,416,272	55,538,903	▲ 1,877,369	

支出内訳　　単位：円

科　目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減額	備　考
（1）主に学生支援に係る事業	11,030,000	7,030,000	▲ 4,000,000	
①キャリア教育・就職活動支援	1,050,000	950,000	▲ 100,000	フェア開催、バス借上
②図書資料の充実への支援	4,300,000	3,300,000	▲ 1,000,000	電子ブック等
③国際交流（海外留学）支援	200,000	200,000	0	国際交流リーフレット製作
④福大生応援プロジェクト	1,000,000	1,000,000	0	ぼうさい支援袋、食生活応援企画
⑤卒業生への記念品の贈呈	2,000,000	1,200,000	▲ 800,000	卒業記念品等
⑥学習環境整備	2,000,000	0	▲ 2,000,000	大学会館大集会室整備・イベント用テント
⑦サークル活動支援	480,000	380,000	▲ 100,000	
（2）人脈構築事業	3,200,000	1,400,000	▲ 1,800,000	
①会報	700,000	1,000,000	300,000	会報制作・発送（30万円はR6年度発送費）
②ホームカミングデー	300,000	300,000	0	
③地区交流会	1,100,000	0	▲ 1,100,000	
④学内外交流事業	100,000	100,000	0	卒業生幹事
⑤校友会カフェ	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
（3）その他校友会維持、発展のための事業	1,200,000	4,460,000	3,260,000	
①事業コーディネーター人件費	0	3,000,000	3,000,000	
②会員データベース	600,000	660,000	60,000	名簿管理システム
③その他事業（運営費等）	600,000	800,000	200,000	加入案内書・納入書制作費、会員カード発行・送付等
（4）予備費	5,000,000	3,000,000	▲ 2,000,000	
①校友会サロン積立て	5,000,000	3,000,000	▲ 2,000,000	
支出合計（B）	20,430,000	15,890,000	▲ 4,540,000	
次年度への繰越額（A-B）		39,648,903		

福大サークルをご紹介

Campus Life

福島大学には100を超えるサークル・部活があります。
その中から、とても元気がよく活躍しているサークルを１つご紹介します。

こんにちは！（学生団体）福島大学災害ボランティアセンターです！「災害ボランティア」という名前ですが、活動はもっと身近で多彩です！ 現在はマネージャー約30名、登録者約240名で活動中。被災地支援はもちろん、地域の子どもたちとのキャンプや学習支援、復興公営住宅での料理教室や工作など様々な活動を行っています！「災害の専門知識がないと難しそう…」という心配は無用！学年・学部不問で、学外からの参加も大歓迎です。 多くの人と関わりながら、大学生活だけでは味わえない感動や成長がここにあります。私たちと一緒に、福島をもっと好きになりませんか？

福島大学災害ボランティアセンターの
公式Instagramはこちら

@FUKUDAI_VOLUNTEER

Giving Campaignを今年も開催！

福島大学の部活動・サークル・研究室等を応援する全国最大級のオンラインチャリティイベント「Giving Campaign」（ギビングキャンペーン）を2025年10月10日～19日に開催しました。延べ48団体がエントリーし、卒業生や保護者、教職員、地域の方々に向けて自ら応援を呼びかけました。10日間で14,389人からの応援投票を獲得し、多数の応援メッセージおよびご寄附が参加団体によせられました。各団体が集めた応援投票数や獲得した企業賞の多寡によって、協賛企業等からの活動支援金が各団体に分配されます。

Giving Campaign
結果報告

学生による ラジオ番組 めばらじ！

福島大学の「学生ジャーナリスト」が制作するラジオ番組（通称めばラジ）では、福島大学の様々なサークルや教員などにインタビューをして紹介しています。これまで知らなかったサークルや、先生たちの意外な一面など、きっと発見があるはず！第34回では、共生システム理工学類の廣田峻先生を取材。番組はYouTubeからご覧になれます！

YouTubeで
めばラジを
チェック！

福島大学校友会（ファミリー会）とは？

「福島大学校友会（ファミリー会）」は、福島大学創立70周年を機に、卒業（退職）後も「福島大学の一員であり続ける（福島大学ファミリー）」という意識の醸成・強化を目的に設立しました。福島大学におけるすべての学類の在校生と保護者（後援会会員）、卒業生（同窓会会員）、教職員、退職者（教職員OB会会員）及び福島大学にゆかりのある方々を会員として組織され、主として福島大学と福島大学の学生を支援する団体です。

福島大学校友会（ファミリー会）会報　vol.6

○発行日：令和8年3月（年1回発行）
○発行者：福島大学校友会事務局（福島大学総務課広報・渉外室 校友会・基金支援係）
〒960-1296　福島市金谷川1番地　TEL 024-503-4991　FAX 024-548-3180

福島大学
校友会HP